

授業科目 人間理解と援助

【担当教員名】 柴山悦子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>利用者・患者さんとの関わり方を学ぶようにするが、技法以前の「心の構え」についても考えてみたい。

<学習目標>

- ①援助者に必要な基本姿勢について学ぶ
- ②理解し、援助するとはどういうことかを学ぶ

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義
2	にっこりするって大変ですか		〃
3	非言語的コミュニケーションについて		〃
4	聴いてもらう喜び～前のめりの医療者には聴こえない		〃
5	わかる／わからない		〃
6	援助強迫症にかかっていますか		〃
7	暮らしが見えますか		〃
8	医療者／味方		〃
9	理解するということ		〃
10	つきあい／ケア		〃
11	「他人の痛み」がわかるのは難しい		〃
12	「人間を見る眼」を耕す		〃
13	まとめ		〃
14	試験		試験

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	『話せる医療者』	佐伯晴子・日下隼人	医学書院	2000年(初版) ¥2000
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況 試験	【履修上の留意点】 「共に考え、共に学ぶ」ということを目的とするので、その姿勢で授業に臨むこと
----------------------	--

全科共通科目 教養